竹原市シルバー人材センターだより９月号

★現在募集中の就業情報★

1. 剪定（初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です）
2. 草刈り希望の方
3. 草とり希望の方
4. 施設の自動車運転・・・月･水･金 ８：00～9：30
5. 高齢者施設の清掃･シーツ交換など(女性･ゆさか)・・・10：30～15：30　5H
6. 高齢者施設の下膳･片付け･洗濯たたみ等(女性･ハートフル)・・・16：00～19：00　3H

興味があり、やってみたいと思われる仕事があれば説明しますので、
遠慮なく事務局まで連絡下さい。

事務所からお知らせ

◎　９月分の配分金の振込みは、１０月１８日(火曜日)になります。

◎ 固定電話の停止・廃止など変更があった場合は、事務所に連絡をお願いします。

◎１０月１５日(土)はシルバーの日です。
毎年１０月の第３土曜日に、全国のシルバー会員が奉仕活動を実施しております。

◎今年も２０２３年度版の会員手帳の予約の受付をしています。
申し込みは、**10 月末** までです。　事務所までご連絡ください。
☎２２－３３３１

会員手帳として、見やすく、使いやすく、
そしてお求めやすい価格で提供しています。
価格は、１冊　２５０円　です。

会員の皆さまお一人おひとりに、
就業予定・就業実績等を記入し、ぜひ活用していただきたい手帳です。

クイズはうらにあります

答えをご持参の方粗品進呈　**10 月 20 日** 以降にご持参ください。
提出･受取りは会員さん本人に限ります。

		5		2	1	9	3	
				6				
1					9	8		
	7	3	1				9	
6			3	9	7			8
	9				6	7	1	
		6	9					2
				5				
	1	2	7	3		5		

例

7	8	2	9	4	6	3	1	5
5	6	3	2	7	1	9	4	8
1	4	9	5	8	3	7	2	6
9	2	4	6	1	7	8	5	3
3	5	1	8	2	9	6	7	4
8	7	6	4	3	5	2	9	1
4	9	5	7	6	8	1	3	2
2	3	8	1	9	4	5	6	7
6	1	7	3	5	2	4	8	9

名　前

問題を読んでマスにあてはまる文字を入れましょう。A～D をつなげてできる言葉は？

1 C	2	3		4	5
6	D		7		
		8		9	
	10	B			
11			12		13
14				15	A

A	B	C	D

タテのカギ

1. 舞踊などで酒宴に興を添える少女。祇園が有名
2. 染料に使われる植物。インディゴ
3. 足の速い神様
5. 人手が少ないこと。〇〇〇な警備
7. 結婚の約束
9. 悪い意味で計画を立てること
10. 足を組んですわること
11. 竹の幹にある盛り上がり
13. てきや

ヨコのカギ

1. 適当な距離。〇〇〇をはかる
4. 先手の反対
6. お腹に飯粒状の卵を持つのでこの名がついた海産物
8. 揚げ玉のこと
10. 人に知られないように陰で活動すること
11. テッポウともいわれる魚
12. 独特の強い臭気がある〇〇〇の干物
14. 多くの中から特に選び出されることを〇〇〇の矢が立つということ
15. 自由に使いこなすこと

１１月２７日（日曜日）竹原市民館において「ザ★コンサート２０２２」があります。入場券はシルバー事務局にあります。
前売り券１０００円です。コンサートに行ってみたいと思われる方は、シルバー事務局にご連絡ください。

№１８４　　２０２２年９月

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★今月の事故★

草刈機での飛び石の事故が多発しています。必ず飛散防止ネットを使用して作業してください。

１．事故の概要（就業中）

・作業現場は、道路（コンクリート舗装）に面した篠藪。
・道路に三脚を立てて、篠竹・立木等を高さ 3mに切りそろえる剪定作業。
・作業中何らかの原因で三脚から落下、頭部外傷、脊椎脱臼骨折。
・一人作業であったが、残滓処理をしていた発注者が、頭から血を流し倒れていた会員を発見、声をかけるも意識がなかったため救急車を要請、病院に搬送されたが死亡。
・安全帽は未着用であった。

２．事故の原因

・直接の原因は、一人就業であったため不明であるが、三脚は立ったままであり、剪定中にバランスをくずして落下したものと推測される。
・センターでは、足場 2m、作業する立木等の高さ 4mの安全基準を設けており、今回も契約上 3mまでの剪定であり問題なかった。
・安全帽は、センターから全会員に配付されているが、残念ながら今回は未着用であった。

３．事故発生後の再発防止策

【センター】
・臨時の安全適正就業委員会を開催し、事故の報告を行い、安全保護具着用の徹底、未着用者の罰則規程、全会員への周知方法についての話し合いを行った。
・早急に臨時の「安全就業だより」を発行し、全会員に郵送し周知する。
・９月初めに再度安全適正就業委員会を開催し、安全就業対策について話し合う予定。
【連合本部】
① 高所、屋外作業中の安全帽着用の必要性について注意・喚起すると共に徹底すること。
② 一人就業の危険性について注意・喚起すると共に受注は控えること。
③ 作業で使用する機材は、会員自らが所有・管理しているもの、または、センターが所有・管理しているものを借受けて使用することを徹底すること。
④ 会員、センターが所有・使用する三脚・脚立について「閉じ防止金具」を備えているか点検、整備すること。

４．全シ協から

再び剪定作業で大きな事故が起きてしまいました。
最も欠かせない安全帽を装着していなかったこと、一人での作業のため、発見が遅れた可能性もあり、安全な状態での作業状態ではなく起きてしまったと考えられます。
やはり、㊟　安全帽の装着は、必須です。
また、作業は、㊟一人で行わないでください。
さらに、脚立・足場板を使用する場合は、墜落制止用器具（安全帯）も必須です。
墜落制止用器具（安全帯）の装着が難しい場合や地面同様の環境が確保できない場合は、請け負うことは、お断りください。
事故防止策で、例えば、安全作業チェックシートなどで剪定就業会員にヘルメット、墜落制止用器具（安全帯）の有無、三脚脚立の固定状態などにチェックを入れ事務局へ提出することなどを行い、会員さんに「自分の安全は自分で守る」という意識を徹底してもらうこと、さらに、職員や安全委員による安全パトロール（抜き打ち含む）を行い、安全帽、墜落制止用器具（安全帯）の装着など、チェック項目を決め会員さんに安全就業の意識を高めてもらうことも重要です。このような事故を起こさないように、センターとして今一度会員さんが安全、安心して就業できる環境について話し合い、再発防止の徹底をお願いいたします。

令和４年８月（令和４年度）事故速報

（1） 重 篤 事 故

８月は、４件の重篤事故の報告がありました。
８月までの累計で比較してみると、令和３年度の１０件と比して令和４年度は８件と２件減少しています。
また、就業中・就業途上別でみると、就業中では令和３年度の６件と比して１件の減少となっており、就業途上については、令和３年度の４件と比して３件と減少となっています。

８月報告分までの累計

令和4年度累計	就業中・就業途上	件数	内訳				令和３年度同月累計					
			事故の程度		性別			計	事故の程度		性別	
			死亡	入院	男性	女性			死亡	入院	男性	女性
	就業中	7(3)	5(1)	2(2)	5(3)	2(0)	就業中	6	4	2	6	0
	就業途上	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	就業途上	4	2	2	2	2
	計	8(4)	5(1)	3(3)	6(4)	2(0)	計	10	6	4	8	2

（　　）は、当月分報告分

８月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
5	男70歳	就業中（死亡）	作業現場は、道路に面した篠藪。道路に三脚を立てて、篠竹・立木等を高さ3mに切りそろえる剪定作業。作業中何らかの原因で三脚から落下、頭部外傷、脊椎脱臼骨折。一人就業であったが、残滓処理をしていた発注者が、頭から血を流し倒れていた会員を発見、声を掛けるも意識がなかったため救急車を要請、病院に搬送されたが死亡。	×	―	―
6	男84歳	就業中（入院）	樹木の雪囲い作業中、三脚の開き止めチェーンを掛けなかったため三脚が倒れ、三脚の2、3段目から転落し、頭部骨折など。	○	×	―
7	男84歳	就業中（入院）	公園休憩所の施錠をした後、排水溝の段差に躓き転倒。大腿骨骨折・背骨の粉砕骨折となった。	―	―	―
8	男86歳	途上（入院）	就業場所へ自転車で向かう途中、道路を横断中に左方から走行してきた自動車と衝突し、頭部、外傷性脳挫傷となった。	―	―	自転車

（２）１ヶ月～６ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

８月は、就業中の事故１５件、就業途上の事故５件と、合計２０件であり、昨年度同月の２２件と比して２件の減少となっています。また、男女別では、男性は１件の減少となっており、女性は１件の減少となっています。

８月までの累計で比較してみると、昨年度の９０件と比して、本年度は９４件と４件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は７４件で８件の増加となっており、就業途上は２０件で４件の減少となっています。男女別では、男性は１件の増加となっており、女性は３件の増加となっています。

令和4年度8月分　　（　）は令和３年度同月の発生件数

	仕事の内容		事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢(歳)	
			８月	累計	８月	累計	８月	累計	８月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等		4(6)	29(29)	4(6)	29(29)	0(0)	0(0)	74	77
	除草作業		4(4)	7(14)	3(3)	5(12)	1(1)	2(2)	76	77
	屋内・屋外清掃作業		2(2)	14(12)	0(0)	3(5)	2(2)	11(7)	76	78
	その他		5(3)	24(11)	3(0)	17(6)	2(3)	7(5)	74	77
	計		15(15)	74(66)	10(9)	54(52)	5(6)	20(14)	75	77
就業途上	交通手段	徒歩	1(0)	6(8)	0(0)	2(2)	1(0)	4(6)	80	71
		自転車	3(4)	10(9)	2(2)	6(4)	1(2)	4(5)	75	76
		バイク	1(2)	4(6)	0(1)	2(4)	1(1)	2(2)	76	76
		自動車	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	0(0)	0(0)	—	—
		計	5(7)	20(24)	2(4)	10(11)	3(3)	10(13)	76	74
合　計			20(22)	94(90)	12(13)	64(63)	8(9)	30(27)	75	77

編　集　後　記

９月は二度も三連休がありましたが、最初の三連休は台風 14 号が日本列島を縦断、後の三連休もまた新たに発生した台風で大雨。秋分の日のお墓参りも我が家では雨の合間をぬってとなりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年も今月 21 日から「秋の全国交通安全運動」が始まりました。今年の重点項目も昨年同様の「子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保」、「夕暮れと夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶」、「自転車の交通ルール遵守の徹底」ですが、薄暮時間（日没時刻の前後１時間）は自動車と歩行者が衝突する事故が最も多く発生しています。日没 30 分前には点灯し、自転車運転中も歩行中も十分気をつけて事故を起こさないよう、遭わないようにお願いします。高齢者、高齢運転者の交通事故防止のためには、加齢等に伴う自身の身体機能の変化（例えば、認知機能の低下、疾患による視野障害の増加、反射神経の鈍化、筋力の衰え等）を認識することが一番大切と言われています。これは交通事故に限らず、就業中にも言えることで、自分はまだまだ若い、自分には関係ない、自分だけは大丈夫と過信することなく、細心の注意を払ってすべての事故遭わないよう気をつけるようにしてください。（松山）

私は最近、悪口のような他人に対するマイナス発言が気になっています。周りとの会話やテレビを観ていても、それは日常的に当たり前のように溢れています。私自身、自分のことは棚に上げて、仲間内の飲み会などで無意識のうちに他人を批判してしまうこともあります。妻の悪口をいってスッキリすることも、、、。ネット上で見たある研究データでは、多くの人は悪口をいうことでストレスを発散できると考えているようですが、実際にはストレスを増やしているとのことで、世間や他人に対する皮肉・批判度の高い人は認知症のリスクが３倍、死亡率は 1.4 倍も高い結果が出ています。他人の心だけではなく脳が身体の細胞までをも傷つけるというのは興味深い話です。話す人よりも聞かされる側がたまったものではありません。本人のいないところで悪口を言う人がよくいますが、周りに悪い印象を与えてしまいますし、周りはそのような人を心から信頼しないでしょう。悪口を言う人は他人と自分を比較したり自己肯定感が低いケースがほとんどです。自分で自分の良いところを見つけ、認め、褒めて、自己肯定感を高めれば、悪口は減ってくるそうです。昨年亡くなった義母は人の悪口を一切言わない人でしたが、老人ホームに入居した直後は周りの悪口を言うようになりました。その変化に私も初めは戸惑いましたが、自分はまだまだ元気なのに他の入居者と一緒に扱われることへの不満や老いていくことへの不安があったように思います。誰から見ても明らかに批判したくなるようなケースも勿論あると思いますが、改善するにはどうすればよいのか、プラス思考で考えてみることがポイントではないかと思います。悪口や不平不満は、認知症を招いたり健康にもよくないので控えめにしましょう。私も妻への悪口、愚痴はほどほどにします。（髙木）